

1. 小単元 戦国の世は、どう統一されたの
2. 目標 ・長篠の戦いや戦国の世の統一に関心をもち、天下統一を進めた信長、天下統一をなしとげた秀吉、全国支配を固めた家康について調べ、戦国の世が統一されたことが分かり、国の歴史や先人の働きについて理解と関心を深めるようにする。
3. 評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	観察・資料活用・表現	知識・理解
キリスト教の伝来、信長・秀吉・家康の業績に関心をもち、調べようとする。	信長・秀吉・家康の三人の武将の活躍によって、戦国の世が次第に統一されたことを考え、適切に判断している。	信長の戦いの様子、秀吉の天下の統一の様子、家康による江戸幕府の成立などを中心に調べ、戦国の世が次第に統一され武士の世の中へと展開していった様子を分かりやすく表現している。	キリスト教の伝来、信長・秀吉・家康などの代表的な人物の働きによって、戦国の世が次第に統一されていったことがわかる。

4. 授業を進めるにあたって

(1) 教材について

室町時代～安土・桃山時代。それは日本が力のある者が天下を取ろうとする、無常ではかない戦国の時代であった。この戦乱の世を導き、生き抜いた三人の武将（信長・秀吉・家康）の個性や人となりから子どもたちは何かしら感じ取るものがあるだろう。天下統一・天下泰平を願いながら実現できなかった信長、その後を受け継いでいく秀吉・家康の思いを想像しながら興味をもって学習できる単元でもある。

一つの資料をじっくりと観察し、資料集や教科書から調べ考えたことを出し合う中で自分たちの疑問や知らなかったことがはっきりしてくる。友だちとのかかわりやみんなで疑問を解決することに適した単元である。

(2) 児童について

歴史が好きだと思ふ子もいるが、聞き慣れない難しい言葉に抵抗を示している子もいる。しかし、遣唐使の学習では、「危険なのに、なぜ中国へ渡ったのだろう。」「中国で学んでも、すぐに帰ってこられないのになぜ行ったのだろう。」と素直な疑問が出てくる子たちである。

資料からの気づきはあっても、そこからどう考えるか。また、歴史上の人物と自分とを重ねて考え人物に迫っていくことに関しては、これからの課題である。

(3) 研究とのかかわりについて

①子ども主体の授業づくり

めざす学び合う姿に迫るために

ア. 子どもの疑問による課題づくり イ. クイズタイム（質問タイム）

考える力を伸ばすために

ア. 考える時間の保障 イ. 課題・発問の吟味（繰り返し・揺さぶり・問い返し）

②評価と支援の一体化

ア. 振り返り

5. 学習計画 (総時数6時間)

	学習のねらい	学習活動 (・内容)	評価規準 (方法) ◎十分満足できる状況
戦国大名 (1)	・戦国大名には、どんな人がいるかを知り、どんな思いをもっているかを考える。	戦国大名には、どんな人がいるのだろう 上杉氏・北条氏・武田氏・織田氏・徳川氏・毛利氏…… ・ 領地を広めたいから戦いをする ・ 自分の国を豊かにしたい ・ 京へ上り、全国1の武士と認められたい (課外) 戦国大名について、本の読み聞かせ	関 戦国大名にはどんな人物がいるのか調べようとしている。 (観察・ノート) ☆自分が興味をもった大名を調べるよう促す。 ・ 1560年と16世紀終わり頃の戦国大名の領地の様子を紹介する
武田信玄の強さ (1)	・武田氏の強さの秘密を考え、信玄の思いを知る。	武田信玄はどんな武将だったのだろう ・最強の騎馬隊 ・風林火山 ・人は石垣、人は城……	思 信玄の資料から、武田氏の強さ、信玄の人を信じ大切に思う心を考えたり想像したりする。 (発言・ノート)
信長の戦い方 (2) 本時2/2	・長篠の合戦の絵を観察して、信長・家康連合軍と武田軍との戦い方の違いを見つける。	織田軍は、最強の騎馬隊をもつ武田氏をなぜ倒すことができたのだろう ・柵がある ・堀がある ・鉄砲を使っている ・三部隊に分かれているから素速い攻撃ができる ・連合軍で人数も多い ・天下を統一したい、争いのないまとまった国にしたいという信長の思いがあった	観 信長・家康連合軍と武田軍との戦い方の違いを見つけている。(発言・ノート) ●一人一人に資料を配布し、記入できるようにしておく。 ☆鉄砲でも不利な点はないのか?と問い、信長のさらなる戦略に気づかせたい。
天下の統一 (2)	・信長・秀吉・家康のそれぞれの業績から、戦国の世が統一されていったことを自分なりにまとめる。	信長・秀吉・家康はどのようにして天下を統一していったのだろう 信長・・・安土城と城下町, 新しい政治方針, キリスト教, 短い期間で領土を拡大した ----- 秀吉・・・大阪城, 太閤検地, 刀狩令, 朝鮮侵略 家康・・・関ヶ原の戦い, 江戸幕府, 江戸の町と江戸城	知 三人の武将の働きによって、戦国の世が次第に統一されていったことがわかる。 (ノート) ●それぞれの人物を理解しやすいように、「天下餅の歌」や川柳, エピソードを紹介する。

6. 本時の学習 (4/6 時)

(1) ねらい

- ・長篠の合戦の絵を観察して、信長・家康連合軍と武田軍との戦い方の違いを見つける。

(観察・資料活用・表現)

(2) 評価規準

- ・長篠の合戦の絵を観察して、信長・家康連合軍と武田軍との戦い方の違いを見つけている。

(観察・資料活用・表現)

(3) 準備

長篠合戦図屏風 プリント

(4) 展開

学習活動と予想される児童の反応	評価口と支援●
<p>1. 復習をする。(3)</p> <p>2. 本時の課題を確認する。(2)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;">長篠の合戦の絵から考えたことを話し合おう</div> <p>3. 資料から考えたことを出し合う (15)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">織田軍</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">武田軍</div> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・敵からの攻撃を避ける柵がある ・数が多い ・川があるから、敵が落ちる ・鉄砲隊が先頭にいる ・3000人も鉄砲隊 (3列) ・鉄砲の方が馬より速い ・信長、秀吉、家康が協力している <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin: 10px 0; width: fit-content;"> <ul style="list-style-type: none"> ・守りがあまりいない。 ・数が少ない ・つつこむだけの攻撃だ </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin: 10px 0; width: fit-content;"> <ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの方が集まるということは、鉄砲の方が訓練が簡単なのかな？ ・自分が傷つくことなく、相手を倒すことができる。 </div> <p>〈最強の騎馬隊をもつのに織田軍は、なぜ勝つことができたのだろう〉 (20)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・織田軍は3000丁もの鉄砲を使っている ・連子川があるからそこで騎馬隊のスピードが落ちてしまう ・発射まで時間がかかるため、3列にした <p>4. まとめる (5)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;">織田軍は鉄砲隊が活躍した。連合軍で人数も多い。柵や柵の前に川が流れているなど作戦もよかった。</div> <p>○信長は、どんな人だったのだろう？調べていこう</p>	<p>●前時の武田軍の強さを取り上げることにより織田軍の戦いの工夫に気づくことができるようにする。</p> <p>●あらかじめ一人一人に資料を配布し、記入できるようにしておく。</p> <p>観信長・家康連合軍と武田軍との戦い方の違いを見つけている。(発言・ノート)</p> <p>●鉄砲を使っていることに話を焦点化させていく。</p> <p>☆実は、馬の方が速いことなどを伝え、鉄砲でも不利な点はないのか問い、信長のさらなる戦略 (川や天候) に気づかせたい。</p> <p>●信長の行ったことから信長の人柄を想像し、天下統一へとつなげていきたい。</p>

※武田軍の強さを基に織田軍の戦い方の工夫を考える。その際に、自分たちの見つけた織田軍の作戦で特に有効であった作戦を考えることでかわり合い、高め合う場としたい。